

# 一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会 2021年度 事業計画書

## I. 事業期間

2020年12月1日～2021年11月30日

## II. 事業実施方針

代謝栄養学の進歩普及に貢献するために、第36回学術集会、各種セミナー（NST専門療法士受験必須セミナー、NST専門療法士更新必須セミナー（オンラインセミナー含））、LLL（Life Long Learning）、JSPEN栄養マスターコース、NSTベーシックコース、職能別アドバンスコースなど COVID-19の感染防止に留意しつつ、WEBを含めた開催形態を考慮しながら実施する。

特に第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会（JSPEN2021）の開催については、1月8日（1都3県）および14日（2府5県）に発令された緊急事態宣言とCOVID-19拡大により多くの医療者が感染拡大防止活動に多忙を極められていることが予想されたため、完全WEB型であっても2月の学術集会は有意義な開催が危ぶまれる事態であると判断し、2月18日～19日での開催を中止した。しかしながら、この場合には昨年に続き2年間にわたり現地開催がなく、参加者間の交流の場が失われるため、本来2月に実施予定であった現地参加とWEB参加を併用するハイブリッド型開催の機会を改めて求め、会期を2021年7月21日～22日に延期した上で、同じ神戸の地でポートピアホテルを中心にJSPEN2021を開催する。但し、この延期日程についても、開催時の社会状況による完全WEB型への移行も念頭に準備を進める。

さらに、e-journal「学会誌JSPEN」の発行、学会ウェブサイトによる広報活動と情報提供、認定医・指導医・認定歯科医、NST専門療法士、臨床栄養代謝専門療法士認定制度に関する事業、専門療法士認定制度では、NST認定教育施設の新規認定及び認定期間更新を実施する。NST稼働施設認定制度では、NST稼働施設の新規認定及び認定期間更新を実施する。臨床栄養推進事業に関しては、ガイドライン委員会による「がん患者のための代謝・栄養管理ガイドライン」の発行、臨床栄養コンセンサス検討委員会と実務チーム9領域のWTによるJSPEN独自の“コンセンサス本”を2021年に発行する。

支部活動では、新支部制度の2年目を迎えるため、各支部の支部長と世話人会の協力を得て、COVID-19で延期した新支部体制による支部運営および各支部学術集会の開催を支部統括委員会も運営支援し、支部事業を行う。

JSPENプロジェクトは、P 001～P 010 の各プロジェクト事業を関係委員会と連携し進めていく。

## III. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

### （1）会員の研究発表会、学術講演会等の開催事業

#### ①事業名：第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会開催事業

（ The 36th Annual Meeting of Japanese Society for Clinical Nutrition and Metabolism ）

- ・ 内 容；第36回学術集会の開催（ハイブリット開催）、第36回学術集会プログラム集の編集・発行
- ・ 会 長；鍋谷圭宏（千葉県がんセンター食道・胃腸外科・部長 / NSTチェアマン、

千葉大学医学部・臨床教授)

- ・ テーマ ; 温故知新 : 栄養療法のこれまで・今・これから  
Learn from the Past for the Present and Future of Nutrition Therapy
- ・ 開催場所 ; ①神戸(神戸ポートピアホテル)  
②オンライン配信によるライブ・オンデマンド視聴参加
- ・ 開催会期 ; ①②2021年2月18日~19日→【延期】2021年7月21日~22日
- ・ 対象者 ; ①②会員および非会員

②事業名 : 学術集会支援事業(学術集会実践支援委員会、支部統括委員会)

- ・ 内容 ; 年次学術集会・支部学術集会の改善と将来のあり方の検討
- ・ 実施場所 ; 第1回・第2回(未定)
- ・ 実施日時 ; 第1回・第2回(未定)
- ・ 対象者 ; 各委員会委員

③事業名 : 各支部学術集会開催事業(8支部)(各支部長、各支部学術集会会長、支部統括委員会)

- ・ 内容 ; 静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する学際的かつ学術的研究の発表を行う。また、支部学術集会運営支援会社を本学会にて選定し、COVID-19禍での各支部での学術集会の開催を考慮した開催形態にて実施する。
- ・ 実施場所 ; 2020年度順延となった支部学術集会を引き継ぐとともに新支部制度への移行も含めた、各エリアによる支部学術集会を開催する。
- ・ 実施日時 ; 2021年度中に2各支部にて開催地・開催日程を決定し、広報する。
- ・ 対象者 ; 会員および非会員

## (2) 機関誌、論文図書等の刊行事業

①事業名 : e-journal「学会誌JSPEN」の発行に関する事業(編集委員会)

- ・ 内容 ; 静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する論文をe-journal「学会誌JSPEN」に掲載する。
- ・ 実施場所 ; 学会ウェブサイト マイページ内にて公開、6ヶ月後にJ-STAGE 上で公開
- ・ 実施日時 ; e-journal「学会誌JSPEN」は年7回発行(Supplement 1・2を含む)  
Vol.3 No.1~No.5(発行予定:2月、4月、7月、9月、11月)  
Vol.3 Supplement 1 第36回学術集会プログラム・抄録集  
Vol.3 Supplement 2 学会の認める地方会・研究会抄録集
- ・ 対象者 ; 会員および非会員

②事業名 : e-journal「学会誌JSPEN」の編集に関する事業

- ・ 内容 ; 静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する研究論文を査読し、学会誌の編集を行う。
- ・ 実施場所 ; 第1回・第2回 : 東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・ 実施日時 ; 第1回 : 2021年1月頃、第2回 : 2021年8月頃(編集委員会)  
e-journal「学会誌JSPEN」は年7回発行(Supplement含む)

Vol. 3 No. 1~No. 5(発行予定：2月、4月、7月、9月、11月)

Supplement 1 第36回学術集会プログラム・抄録集(学術集会会長編集)

Supplement 2 学会の認める地方会・研究会抄録集

・対象者：委員会委員、査読委員、随時(オンライン投稿審査システム(Editorial Manager®))

③事業名：e-journal「学会誌JSPEN」優秀査読者表彰に関する事業

・内容：e-journal「学会誌JSPEN」における査読の質の担保および本学会の査読力の向上と啓発を目的として、編集委員会 Board Memberが担当したその年の論文査読依頼者から1名を推薦し、表彰する。

・実施場所：①東京(学会事務局またはWEB会議)、②メール審議

・実施日時：①②2021年1月頃

・対象者：委員会委員、査読委員

④事業名：国際英文誌ジャーナルの購読に関する事業

・内容：医学系出版社KARGER(カルガー)社発行の国際英文誌ジャーナル「ANNALS OF NUTRITION AND METABOLISM」を英文誌のオフィシャルジャーナルとして提携し、会員向けのオンライン購読のサービスを行う。

・実施場所：会員マイページ上

・対象者：会員

⑤事業名：ガイドライン作成事業(ガイドライン委員会)

・内容：ガイドライン(癌)において、GRADE班およびNarrative班での以下の作業を完了し、ガイドラインの最終決定を行い、2021年に発行する。

1) GRADE班におけるSystematic Review班の人員確保し、選任手続きを行う。

2) GRADE班のClinical Question(CQ)に対するパブリックコメントの募集

3) GRADE班の各CQのエビデンス収集とエビデンス評価の統合(Systematic Review(SR)班)

4) 推奨作成、ガイドライン草案作成(ガイドライン作成WG(パネル班))

5) Narrative班でのテーマの策定

6) Narrative班での解説の作成

7) 外部評価

8) ガイドライン最終決定(ガイドライン作成WG(パネル))

・実施場所：①Slack審議・WEB会議、②学会ウェブサイト上

・実施日時：①随時、②パブリックコメントは進行スケジュールにより調整

・対象者：①②委員会委員、②パブリックコメントは会員および非会員

⑥事業名：JSPEN「コンセンサス」作成事業(臨床栄養コンセンサス検討委員会、9領域WT、理事会)

・内容：9領域WTでのコンセンサスを確定させ、JSPENコンセンサスの編纂作業を終了する。出版社を選定し、2021年に刊行する。

・実施場所：①WEB会議、②メール審議

- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①②委員会委員、9領域WTメンバー、理事会メンバー

⑦事業名：9領域コンセンサス作成事業(9領域WT)

- ・内容；2020年度中に9領域WTで検討された各領域のコンセンサス候補について、当該領域のWT、臨床栄養コンセンサス検討委員会、理事会メンバーによるデルファイを重ねたものを、JSPENが推奨するコンセンサスとして確定し、Answerと解説の執筆と編纂を行い、臨床栄養コンセンサス検討委員会へ提出する。
- ・実施場所；①WEB会議、②メール審議
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①②9領域WTメンバー、委員会委員、理事会メンバー

⑧事業名：「日本臨床栄養代謝学会 JSPENテキストブック」発刊事業(新ハンドブック作成プロジェクト(P 004))

- ・内容；学会名称の変更と、2017年2月の発行後さらに最新の知見を含んだ内容にすべき箇所もあることから、現行のテキストブックを改訂し、新刊を発行する。本事業は2020年に新ハンドブック作成プロジェクト(P 004)として立ち上げ、編集作業を開始しており、2021年の第36回学術集会の開催時期と併せての発行を行う。
- ・実施場所；メール審議を必要に応じて開催し、執筆依頼を行った。
- ・実施日時；随時
- ・対象者；プロジェクトメンバーと執筆者(会員)

(3)内外の関係学術団体との連絡及び提携

①事業名：日本医学会および一般社団法人日本医学会連合の加盟団体としての事業(理事会)

- ・内容；日本医学会加盟分科会および一般社団法人日本医学会連合加盟団体として、日本医学会代議員、日本医学会連絡委員、日本医学会用語委員、日本医学会用語(代)委員、編集委員(欧文誌・和文誌)、倫理・利益相反委員を派遣し、担当会議に参加(WEB会議含)する。さらに加盟分科会・加盟団体として日本医学会・日本医学会連合からの各種調査・アンケートへの回答、厚生労働省や日本医師会などからの通知等の周知依頼協力、日本医学会・日本医学会連合主催事業など学会ウェブサイトなどを通じて広報協力を行う。
- ・実施行事；①第88回日本医学会評議員会、②第6回研究倫理教育研修会、③令和3年度日本医学会連合定時総会、④日本医学雑誌編集者会議、⑤日本医学会用語委員会、⑥厚生労働省・日本医師会通達周知依頼、日本医学会シンポジウム、日本医学会公開フォーラム広報協力
- ・実施日時；①2021年2月26日(WEB会議)、②2021年未定、③2021年未定、④2021年未定、⑤2021年未定、⑥随時
- ・対象者；①③派遣担当会員(日本医学会代議員・連絡委員)、②倫理・利益相反委員長、④編集委員長、⑤用語委員会(日本医学会用語委員、用語(代)委員)、⑥会員

②事業名：一般財団法人日本栄養療法推進協議会(以下、JCNT)の加盟団体としての事業(理事会)

- ・内 容 ; JCNTの学術加盟団体として、JCNTへ理事、評議員、専門委員を派遣する。また、JCNT主催の教育セミナーへの司会・講師を派遣し、本学会のみでなく、関連学術研究団体、職能団体と連携したNSTの質の保証と向上に協力する。
- ・実施行事 ; ①理事会、②評議員会、③認定委員会、④第8回JCNT教育セミナー
- ・実施日時 ; ①②2021年1月22日、③2021年未定、④2021年(予定:e-learning 配信含む)
- ・対象者 ; ①②③派遣担当委員、④会員、JCNT NST稼働施設認定

③事業名 : 日本栄養学学術連合の加盟団体としての事業(理事会)

- ・内 容 ; 日本栄養学学術連合への加盟団体として、2021年12月に開催される「東京栄養サミット2021」に向けた開催支援と「栄養サミットに向けてのコミットメント」の作成について協力する。引き続き、同連合世話人会へ世話人を派遣し、加盟団体との交流を図る。
- ・実施行事 ; ①2020年度日本栄養学学術連合世話人会、②③栄養サミットタスクフォース
- ・実施日時 ; ①2020年12月5日、②2021年1月6日、③随時
- ・対象者 ; ①派遣担当委員、理事会メンバー

④事業名 : 国際交流に関する事業(国際委員会)

- ・内 容 ; 日本の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連して、国際社会(ESPEN、ASPEN、PENZA、FELANPE、IASMEN)に向けた情報交換を行うことを通して本学会の活動のレベルアップを図るとともに、当該領域の国際的情報について会員への提供を行う。さらに、ESPEN(Council Meeting、JSPEN-ESPEN Leadership Meetingを含む)、ASPEN(ASPEN Leadership Meetingを含む)、PENZA(Executive Meetingを含む)への参加を行う。
- ・実施場所 ; ①ESPEN(Council Virtual Meeting 2021)、②ASPEN(Clinical Nutrition Week・virtual conference)、③ESPEN2021 : ミラノ(イタリア)(予定)、④PENZA : バンコク(タイ)、⑤IASMEN : クアラルンプール(マレーシア)(COVID-19により2021年から2022年に日程変更)、⑥委員会(WEB会議、メール審議)
- ・実施日時 ; ①2021年1月22日、②2021年3月20日~23日、③2021年9月11日~14日(予定)、④2021年10月14日~16日、⑤2022年8月28日~9月1日、⑥随時
- ・対象者 ; ①②③④⑤会員、⑥委員会委員

(4) 栄養学に関する研究及び調査

①事業名 : nutritionDayプロジェクト参加推進事業(国際委員会 nutritionDay WG)

- ・内 容 ; ESPENが始めたより安全かつ有効な栄養療法を模索するためのプロジェクトであるnutritionDay プロジェクトに参加する。すなわち、2021年11月(日付未定)をnutritionDay と定め、入院患者の栄養状態を把握する国際的なアンケート調査を世界的に行う。また、ESPEN2021の際にnational coordinator meetingが開催の場合には、出席(参加)し、参加各国との交流及び情報交換を行う。
- ・実施場所 ; ①会員施設、②ESPEN2021(Virtual conference)、③東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時 ; ①2021年11月(予定)(nutritionDay)、②2021年9月11日~14日(ESPEN2021)(予定)、③随時

・対象者；①会員施設、②③WGメンバー

②事業名：在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関するEDCを用いた症例登録型データベース構築事業 (REDCapプロジェクト (P 001))

・内容；大規模かつ多施設によるレジストリ型データベースを活用し、2018年度診療報酬改訂で新設の在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定患者の実態を把握し、転帰を評価後改訂の検討に加え、管理面での標準化を図る。COVID-19の影響により参加施設が伸びないため、引き続き参加施設募集のための広報活動を実施する。

・実施場所；①東京(学会事務局またはWEB会議)、②必要に応じて各地域

・実施日時；①随時、②未定

・対象者；①プロジェクトメンバー、②プロジェクト参加希望施設医療従事者

③事業名：新経腸栄養コネクタ ISO 80369-3の情報提供と導入方法の啓発活動(誤接続防止対策プロジェクト (P 003))

・内容；ISO誤接続防止経腸栄養コネクタ ISO 80369-3の本邦への導入に向けた、社会啓発、会員への情報共有を行う。

・実施場所；各会員施設、年次学術集会、支部学術集会、各教育セミナー

・実施日時；随時

・対象者；会員と会員施設および非会員

④事業名：新経腸栄養コネクタ ISO 80369-3に関する情報収集(誤接続防止対策プロジェクト (P 003))

・内容；ISO誤接続防止経腸栄養コネクタ ISO 80369-3に関する管理方法や製品の情報収集および導入施設での実施状況の事情聴取を行う。

・実施場所；随所

・実施日時；随時

・対象者；学術研究団体、関連企業、会員、会員施設など

⑤事業名：GLIM(The Global Leadership Initiative on Malnutrition)2 作成のための情報収集事業 (GLIM2プロジェクト (P 006))

・内容；2018年に欧州臨床栄養代謝学会 (ESPEN) および米国静脈経腸栄養学会 (ASPEN) の学会誌にて、世界規模での低栄養の診断基準 GLIM criteria が同時に発表された。この GLIM Criteria を本学会で再度検証し、日本での診断基準への適用とその後の経過調査・分析を行う。本プロジェクトでGLIMの有効性や今後改善すべき点を検証し、GLIM2 作成のための情報収集を進める。

・実施場所；①メール審議

・実施日時；①随時

・対象者；①プロジェクトメンバー、関連委員会・プロジェクト

## (5) 栄養サポートチーム (NST) の普及と質の向上に関する事業

### ①事業名：NST医師教育セミナー開催事業(教育委員会)

- ・内容：栄養管理に関する教育、NST運営(NST加算取得に必須条件)のために、医師を対象としたセミナーを開催する。本セミナーは、日本外科代謝栄養学会ならびに日本臨床栄養代謝学会の共催にて開催されるもので、栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の10時間以上の研修に該当する。日本外科代謝栄養学会理事長、日本臨床栄養代謝学会理事長、日本外科代謝栄養学会第58回学術集会会長の同意の下に同学術集會中に開催予定である。
- ・実施場所：大阪国際会議場
- ・実施日時：2021年10月8日～9日
- ・対象者：会員および非会員 約150名(予定)

### ②事業名：新医師・歯科医師教育セミナーの計画と実施(教育委員会、TNT委員会、医師・歯科医師セミナーWG、新医師・歯科医師セミナープロジェクト(P 005))

- ・内容：2020年のTNT研修会の終了に伴い、栄養サポートチーム加算の施設基準要件である専任医師の10時間以上の研修要件を満たす新しい医師・歯科医師の教育セミナーを設置する。2020年度に着手した新セミナーのテキストを基に、新セミナーのプログラム設定をはじめとした開催概要を検討し、2021年度からの開始を目指す。
- ・実施場所：①WEB会議、②メール審議、③新医師・歯科医師教育セミナー
- ・実施日時：①②随時、③開催内容決定後、調整
- ・対象者：①②教育委員会、TNT委員会、医師・歯科医師セミナーWG、新医師・歯科医師セミナープロジェクト(P 005)、③医師、歯科医師

### ③事業名：NST稼働施設認定事業(NST委員会)

- ・内容：NST活動が一定の基準を満たしている施設でNST稼働施設認定を希望している施設に対して、書類審査後、NST稼働施設認定として公開する。
- ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時：①2021年10月1日～31日(予定)、②11月頃(最終書類審査)
- ・対象者：NST稼働施設認定への申請施設(新規・更新)

### ④事業名：NSTフォーラム開催事業(NST委員会)

- ・内容：学術集会開催期間に各医療機関の診療におけるNSTの貢献内容を討議し、各施設の活動の質を向上維持することに寄与することを目的としたフォーラム開催の準備を行う。JSPEN2021では、「NSTのこれまで・今・これから」をテーマとして、創設期、拡大期(NSTプロジェクト初期)、充実期(NSTプロジェクト後期)、未来への展望の構成とした。また、第37回学術集会時(JSPEN2022)でのNSTフォーラムの企画を行う。
- ・実施場所：①神戸(神戸ポートピアホテル)フォーラム開催、②東京(学会事務局またはWEB会議)、③メール審議
- ・実施日時：①2021年2月19日→【延期】7月22日(予定)(NSTフォーラム)

②2021年9月～10月頃、③随時

・対象者：①学術集会参加者、②③委員会委員

⑤事業名：NSTフォーラム参加クレジット付与事業(NST委員会)

・内容：第36回学術集会(JSPEN2021)から導入するNST稼働認定施設の更新要件として新たな参加クレジット制度の実務上の手順等の確立作業とNSTフォーラム参加者(現地およびWEB参加者)への付与を行う。

・実施場所：①神戸(神戸ポートピアホテル)、オンライン配信による視聴参加、②東京(学会事務局またはWEB会議)、③メール審議

・実施日時：①2021年2月19日→【延期】7月22日(予定)(NSTフォーラム)、②③随時

・対象者：①学術集会参加者(現地およびWEB参加者)、②③委員、会長、次期会長・総務委員長、教育委員長

⑥事業名：NST委員会ウェブサイトのリニューアル作業(NST委員会・総務委員会・広報WG)

・内容：NST委員会ウェブサイトを経現在の学会ウェブサイトへ統合されたことにより、次世代に向けた新たなウェブサイト活用の検討を進める。各種手続きの電子化、掲載情報の質、量の充実と検索性に富むウェブサイトの構築を目指す。

・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)

・実施日時：①②随時

・対象者：①②NST委員会、総務委員会、広報WG

⑦事業名：NST稼働認定施設メーリングリスト代替システム構築のための検討作業(NST委員会)

・内容：旧NST稼働認定施設メーリングリストの休止に伴い、その代替となるメール配信システムをウェブサイト上で構築する。NST関連の疑問に対しての学術団体としてエキスパートからの回答を通じた当事者のみならず広く知識が伝達されることを目指す。

・実施場所：①東京(学会事務局、WEB会議併用)、②メール審議

・実施日時：①2021年3月～4月頃、②随時

・対象者：①②NST委員会委員、総務委員長、教育委員長

⑧事業名：NST活動のアウトカム収集・活用事業構築のための検討作業(NST委員会)

・内容：新NST委員会ウェブサイトを利用してNST稼働認定施設への定期的な活動状況報告の仕組みを構築する。新規診療報酬策定、現診療報酬の増点の申請への根拠となるデータの構築と確立を目的とする。

・実施場所：①東京(学会事務局、WEB会議併用)、②メール審議

・実施日時：①2021年3月～4月頃、②随時

・対象者：①②NST委員会委員、保険委員長

## (6) 研究の奨励と優秀な業績の表彰

①事業名：研究推進事業(記念AWARD選考WG：小越章平記念Best Paper in The Year選考)

- ・内 容；賞の選考  
選考基準に従い受賞者を決定する。受賞者は第37回学術集会（JSPEN2022）にて受賞者講演を行う。
- ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公募、②メール審議、必要に応じて会議
- ・実施日時；①2021年9月～30日、②2021年10月頃（選考WG）
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

②事業名：学会への功績に対する表彰事業（記念AWARD選考WG：大柳治正記念学術振興アワード選考）

- ・内 容；賞の選考  
選考基準にしたがい、受賞者・関連講演者を決定する。受賞者・関連講演者には、第37回学術集会（JSPEN 2022）にて、受賞講演・関連講演をお願いする。
- ・実施場所；メール審議、必要に応じて集合型選考会議
- ・実施日時；2021年9月頃
- ・対象者；WGメンバー

③事業名：研究推進事業（学術AWARD選考：JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD選考）

- ・内 容；賞の選考  
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。受賞者は第37回学術集会（JSPEN2022）時の総会・学術評議員会時に表彰する。
- ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公募、②メール審議
- ・実施日時；①2021年9月1日～30日、②2021年10月頃（選考WG）
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

④事業名：研究推進事業（学術AWARD選考：YOUNG INVESTIGATOR AWARD選考）

- ・内 容；賞の選考  
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。受賞者は第37回学術集会（JSPEN2022）時の総会・学術評議員会時に表彰する。
- ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公募、②メール審議
- ・実施日時；①2021年9月1日～30日、②2021年10月頃（選考WG）
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

⑤事業名：研究推進事業（学術AWARD選考：JSPEN スカラーシップ賞選考）

- ・内 容；賞の選考  
選考基準にしたがい、受賞者を決定する。受賞者は第37回学術集会（JSPEN2022）時の総会・学術評議員会時に表彰する。
- ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公募、②メール審議
- ・実施日時；①2021年9月1日～30日、②2021年10月頃（選考WG）
- ・対象者；①会員、②WGメンバー

⑥事業名：研究推進事業(フェローシップ選考WG)

・内容：賞の選考

フェローシップ賞へ応募のあった臨床栄養代謝に関わる研究から5演題を採択する。第36回学術集会時に応募者セッションを開催し、最終の優秀演題を選定する。受賞者は2021年度総会・学術評議員会時の表彰式にて表彰の予定であったが、COVID-19の感染防止のため表彰式典を中止としたため、学会事務局から表彰状を郵送する。また、2020年フェローシップ賞受賞者についても第35回学術集会の紙上開催となったため、2021年式典で表彰の予定であったが、こちらも学会事務局からの郵送での表彰状の贈呈とする。

・実施場所：①第36回学術集会ウェブサイト上、②③④神戸(神戸ポートピアホテル)

・実施日時：①2020年6月15日～7月31日まで(8月31日まで演題登録延長)、②2021年2月18日(選考WG)、③2021年2月18日→【延期】7月21日(予定)(応募者セッション)、④2021年2月18日(最終選考会議)

・対象者：①③会員、②④WGメンバー

(7) 栄養学に関する情報や指針の提供

①事業名：静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する情報提供事業(総務委員会、広報WG)

・内容：本学会ウェブサイトの運用を通じて、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関する広報活動を行うと共に国内外の静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学に関連した最新の情報を提供する。

・実施場所：①学会ウェブサイト、②メール審議

・実施日時：①②随時

・対象者：①会員および非会員、②総務委員会、WGメンバー

②事業名：「JSPENメールニュース」配信事業(総務委員会、広報WG)

・内容：年次学術集会、支部学術集会、認定資格、各種セミナー、各種アワード募集など告知や緊急情報も含む本学会の事業に関する最新情報を『JSPEN メールニュース』として月2回を基本として会員への一斉メール配信を行う。

・実施場所：①E-mail登録のある会員への一斉メール配信、②メール審議

・実施日時：①月2回の基本配信、②随時

・対象者：①会員、②総務委員会、WGメンバー

③事業名：JSPEN「Newsletter」発行事業(広報WG)

・内容：学術集会、各種セミナーの告知、学会からの連絡事項などを会員に通達するためのJSPEN「Newsletter」を発行する。なお、発行形態は学会ウェブサイトへの掲載とし、オンラインを主体として制作を進めるが、今後、会員の要望などに応じて発行形態の変更も検討していく。

・実施日時：①2021年2月、5月、8月、11月発行(年4回予定)

・実施場所：①学会ウェブサイト、②メール審議

・対象者：①会員、②WGメンバー

④事業名：栄養学に関わる用語解説事業(用語委員会)

- ・内容；1)臨床栄養代謝学で必要な用語を正しく適切に用いるための解説を行う。e-journal「学会誌 JSPEN」へ順次掲載する。執筆については、委員会メンバーのみでなく、本委員会にて協議し適任と思われる代議員・学術評議員にも執筆依頼をする。  
2)適切な医学用語の管理と推進のため日本医学会用語委員会へ出席し、本学会用語解説との整合を行う。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)、③学会誌等、④東京(日本医師会)
- ・実施日時；①②随時、③e-journal「学会誌 JSPEN」、④2021年12月頃(応召時)
- ・対象者；①②委員会委員、③会員および非会員(臨床栄養に携わる全ての国民への情報提供)、  
④日本医学会用語委員(用語委員会委員長)もしくは日本医学会用語(代)委員

(8) 社会に対する栄養に関する情報提供と啓発

①事業名：地域連携推進プロジェクト事業(地域連携推進プロジェクト(P 002))

- ・内容；「在宅医療」「地域医療」をキーワードとして、学術団体としての地域連携のあり方、連携推進の実現に向けて活動を進める。地域包括ケアシステムとリンクして栄養管理や栄養療法の重要性を医療従事者だけでなく患者・家族にもご理解いただくための活動について検討を進めていく。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)、③地域連携組織への情報収集
- ・実施日時；①②③随時
- ・対象者；①②委員会委員、③会員および非会員

②事業名：NDB プロジェクト事業(NDB(ナショナルデータベース)プロジェクト(P 007))

- ・内容；REDCap プロジェクト(P 001)とGLIM2 プロジェクト(P 006)と並行して、わが国の栄養療法の在り方をデータ上で捉え、診療報酬の改定や国への要望に際し、現場の確かなデータやエビデンスを基にした将来的な対応を目指したデータの蓄積作業を進める。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①②委員会委員、関連プロジェクトメンバー

③事業名：在宅栄養推進プロジェクト事業(在宅栄養推進プロジェクト(P 008))

- ・内容；現在、在宅静脈栄養管理、経腸栄養管理に関する代表的なエビデンスが本邦に存在しないため、新たな診療報酬への確固としたアプローチができていない。本学会にて在宅での栄養管理法の見直しを実施し、その有効性と経済性を再評価し、さらに実際の管理法の合理化を目指す。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①②随時
- ・対象者；①②委員会委員、関連プロジェクトメンバー

④事業名：COVID-19 プロジェクト事業(COVID-19 対策プロジェクト(P 009))

- ・内容：2020年に理事会を主体としたプロジェクトメンバーで、世界中から発信されている最新の情報とこれまでに集積してきた代謝栄養学的知見から COVID-19 に対する治療と予防に関する栄養学的アプローチについて、厚生労働省、日本医学会をはじめとした関係機関に対して提言を行った。2021年度も継続プロジェクト事業として、必要に応じて新たな情報収集と対応策を講じていく。
- ・実施場所：①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時：①②随時
- ・対象者：①②委員会委員、関連プロジェクトメンバー、理事会メンバー

(9) 医療政策に関する提言

①事業名：2022年度診療報酬改定に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容：2020年度診療報酬改定結果に関して、関係団体や委員会内での討議、及び会員へ情報の提供を行う。さらに、未来に向けた制度としての懸念について厚生労働省保険局と意見交換を行い、次回の診療報酬改定に反映させるべく要望する。また、外保連を通じて情報収集、アンケートへ返答を行う。
- ・実施場所：東京(外保連事務局、厚生労働省)
- ・実施日時：未定(外保連会員総会、委員会など)
- ・対象者：行政、静脈経腸経口栄養および臨床栄養代謝学の関係団体、委員会委員

②事業名：特別用途食品に関する申請事業(保険委員会)

- ・内容：病者用食品の総合栄養食品における半固形物性の許可基準に関して、日本栄養材形状機能研究会での討議、消費者庁とその根拠となるべき物性評価の実施を踏まえ、科学的根拠を提供する。
- ・実施場所：①東京(消費者庁など)、②メールによる審議
- ・実施日時：①未定、意見交換は随時、②随時
- ・対象者：行政、特別用途食品等に関する団体(日本栄養材形状機能研究会、日本流動食協会)、委員会委員

③事業名：医薬品経腸栄養剤の経口処方に関する情報提供(保険委員会)

- ・内容：医薬品経腸栄養剤の経口での処方の在り方について、厚生労働省より情報提供依頼を受け、関連関係機関と調査する。
- ・実施場所：①東京(医薬品経腸栄養剤研究会)、②メールによる審議
- ・実施日時：①未定、メールによる意見交換、②随時
- ・対象者：行政、医薬品経腸栄養剤等に関する団体(医薬品経腸栄養剤研究会)、委員会委員

(10) 認定に関する事業

①事業名：代謝栄養の専門医師育成、認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容：1) 認定医・認定歯科医 認定試験問題を作成し、認定試験を実施する。

- 2) 認定医・指導医の新規および更新審査を実施する。
  - 3) 認定歯科医の審査を実施する。
  - ・実施場所；①大阪またはWEB会議(認定試験WG)、②東京・学会事務局(書類審査)、③国立京都国際会館(認定試験)、④名古屋(合否判定会議)、⑤大阪またはWEB会議(認定会議)
  - ・実施日時；
    - 【新規】・認定医・認定歯科医…①2021年4月～8月(認定試験WG)、②7月1日～31(認定医・認定歯科医申請受付)、8月～9月(申請書類審査)、③10月(認定試験)、④11月(認定試験合否判定会議)、⑤11月(認定試験合格者発表)
    - ・指導医…②2021年8月1日～8月31日(申請受付)、②9月(申請書類審査)、⑤11月(認定会議)
    - 【更新】・認定医・指導医…②2020年12月更新案内、2021年8月1日～9月30日(申請受付)【予定】、⑤9月～10月(申請書類審査)、⑤11月(認定会議)
  - ・対象者；①③認定試験WGメンバー、②認定医・指導医申請者(新規・更新)、認定歯科医申請者(新規・更新は2022年より)、④⑤委員会委員
- ②事業名：NST専門療法士育成、認定事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；1) 専門療法士認定試験問題の作成と認定試験を行う。  
2) 専門療法士更新の審査を行う。
  - ・実施場所；①大阪またはWEB会議(認定試験WG)、②東京・学会事務局または郵送持ち回り審査(書類審査会)、③国立京都国際会館(認定試験)、④名古屋(合否判定会議)、⑤大阪またはWEB会議(認定会議)
  - ・実施日時；①2021年4月～8月(認定試験WG)、②7月1日～31日(専門療法士新規・書類審査合格者・未更新者申請受付)、8月1日～8月31日(専門療法士更新申請受付)【予定】、②9月(専門療法士認定新規申請書類審査)、9月(不備書類再提出、審査)、③10月(認定試験)、④11月(認定試験合否判定会議)、11月(合格者発表)、⑤11月(認定会議・専門療法士更新申請書類審査)
  - ・対象者；①③認定試験WGメンバー、②専門療法士申請者(新規・更新)、④⑤委員会委員
- ③事業名：臨床栄養代謝専門療法士認定事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；臨床栄養代謝専門療法士の暫定認定の審査を行う。
  - ・実施場所；①東京・学会事務局または郵送持ち回り審査(学会事務局)  
②大阪またはWEB会議(認定会議)
  - ・実施日時；①2021年7月1日～7月31日(暫定認定申請受付)【予定】、8月～10月(暫定認定申請書類審査)、②11月(認定会議)
  - ・対象者；①専門療法士更新認定者、②委員会委員
- ④事業名：NST専門療法士育成、施設認定事業(認定・資格制度委員会)
- ・内容；NST専門療法士育成のための施設認定審査(新規・更新)を実施する。
  - ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公示、②大阪またはWEB会議(認定会議)

- ・実施日時；①2021年10月1日～31日(教育認定施設の新規・更新申請受付)、  
②11月(認定会議・申請書類審査)
- ・対象施設；①認定教育施設への申請施設、②委員会委員

⑤事業名：「学会の認める全国学会・地方会・研究会」認定事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；1)NST専門療法士新規・更新条件単位取得のための「学会の認める全国学会・地方会・研究会」(新規・更新)を実施する。  
2)2単位の研究会を対象に活動状況について調査を行う。
- ・実施場所；①学会ウェブサイトにて公示、②大阪またはWEB会議(認定会議)
- ・実施日時；①2021年10月1日～31日(教育認定施設の新規・更新申請受付)、  
②11月(認定会議・申請書類審査)
- ・対象施設；①単位認定を希望する全国学会・地方会・研究会、②委員会委員

⑥事業名：NST専門療法士更新必須セミナー開催事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；COVID-19禍での感染防止対策を講じつつ、オンラインによるセミナー受講も考慮し、NST専門療法士認定者のさらなる質の向上のために、NST専門療法士を対象とし、資格更新のためのセミナーを開催する。開催形態については、COVID-19の感染状況に応じてオンラインセミナーへの切り換えも行う。
- ・実施場所；第1回：横浜、第2回：京都、学会ウェブサイト上
- ・実施日時；第1回：2021年4月25日、第2回：5月16日、オンラインセミナー受講期間
- ・対象者；NST専門療法士(約520名[第1回：220名、第2回：300名]、オンライン受講者数)

⑦事業名：臨床栄養代謝専門療法士セミナー開催事業(認定・資格制度委員会)

- ・内容；COVID-19禍での感染防止対策を講じつつ、オンラインによるセミナー受講も考慮し、臨床栄養代謝専門療法士認定者のさらなる質の向上のために、臨床栄養代謝専門療法士の認定申請希望者および暫定資格認定者を対象とし、資格更新のためのセミナーの開催を企画する。初回セミナー実施予定年となるため、9領域認定者数の分布を考慮しながら開催概要を関連委員会と協議し決定する。また、開催形態については、COVID-19の感染状況に応じてオンラインセミナーへの切り換えを検討する。
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；未定
- ・対象者；臨床栄養代謝専門療法士認定申請希望者、暫定資格認定者

## (11) 教育に関する事業

①事業名：JSPEN栄養マスターコース開催事業(教育委員会)

- ・内容；臨床栄養に高いレベルで更に精通した人材の育成を目的とする実践的な知識の学習(主に実際の症例検討を参考に)を目指すコースでテーマを決めて開催する。
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；第7回・第8回(2021年開催で調整)

- ・対象者；会員約80名[第7回・第8回：各40名を想定]  
(定員は開催会場のソーシャルディスタンスを考慮した人数で調整する。)
- ②事業名：LLL(Life Long Learning)開催事業(教育委員会 LLL WG)
- ・内容；LLLライブコースの開催  
ESPENの教育ツールを用いて、栄養管理に関するAdvanced Courseの教育のために、講習会を開催する。
  - ・実施場所；①WEBセミナー(ウェビナー)(予定)、②東京またはWEBセミナー(ウェビナー)(予定)
  - ・実施日時；①第18回、②第19回(2021年開催で調整)
  - ・対象者；①②会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)延べ約120名で想定  
(定員は開催会場のソーシャルディスタンスを考慮した人数で調整)
- ③事業名：LLL WG会議の開催(教育委員会 LLL WG)
- ・内容；LLLライブコースの開催に関する方針の作成のため、会議を行う。
  - ・実施場所；東京(学会事務局またはWEB会議)
  - ・実施日時；未定
  - ・対象者；WGメンバー
- ④事業名：LLL(Life Long Learning)受講に向けた事前学習会開催事業(教育委員会)
- ・内容；LLL事前学習会の開催  
ESPENの教育ツールLLLの自己学習を補助するため、事前学習会を開催予定。
  - ・実施場所；未定
  - ・実施日時；未定
  - ・対象者；会員および非会員(医師およびメディカルスタッフ)  
(定員は開催会場のソーシャルディスタンスを考慮した人数で調整)
- ⑤事業名：NST専門療法士受験必須セミナー開催事業(教育委員会、オンラインセミナー構築プロジェクト(P 010))
- ・内容；COVID-19禍での感染防止対策を講じつつ、オンラインによるセミナー受講も考慮し、臨床現場での基本的事項の教育、適切な栄養療法の普及と質の向上のために、非会員も対象とし、多職種向けのセミナーを開催する。開催形態については、COVID-19の感染状況に応じてオンラインセミナーへの切り換えを行う。
  - ・実施場所；第1回：横浜、第2回：京都、学会ウェブサイト上
  - ・実施日時；第1回：2021年5月8日～9日、オンラインセミナー受講期間
  - ・対象者；会員および非会員(200名[第1回：200名]、オンライン受講者数)
- ⑥事業名：NSTベーシックコース開催事業(教育委員会、専門能力開発委員会(職能3部会))
- ・内容；COVID-19禍での感染防止対策を講じつつ、より適切な栄養療法の実践のために、どうしても知っておきたい基本的な部分を確認して知識を深めるべく、非会員も対象とし、多

種職メディカルスタッフ向けのセミナーを開催する。(これまでの栄養士・管理栄養士、看護師、薬剤師部会のトレーニングセミナーの後継)

- ・実施場所；第3回(未定)
- ・実施日時；第3回(未定)
- ・対象者；会員および非会員 50名を想定  
(定員は開催会場のソーシャルディスタンスを考慮した人数で調整)

⑦事業名：職能別アドバンスコースの開催(教育委員会、専門能力開発委員会(職能3部会))

- ・内容；COVID-19禍での感染防止対策を講じつつ、専門職としての特化した高度な知識あるいは研究の方法を学ぶ場を提供する。
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；未定
- ・対象者；NST専門療法士有資格者(定員 未定)

(12) その他前条の目的を達成するために必要な事業

①事業名：総務統括(総務委員会・財務委員会・将来構想委員会)

- ・内容；1) COVID-19禍における理事・監事選挙の実施方法の検討および第8回定時社員総会開催について検討する。  
2) 令和3年度(2021年度)総会・学術評議員会開催方法について検討する。  
3) 第36回学術集会ハイブリット開催に伴う諸行事の実施について検討する。  
4) 役員改選後の各種委員会・WG・WT・PTの再編成に伴う業務を支援する。  
5) 学会事務局管理・運営に関する業務を行う。  
6) 会員管理業務をはじめとしたWEBシステムの改修・追加機能実装を進める。  
7) 本会の健全な財務運営や会員サービス向上のため、学会事務局機能の向上を図る。

○総務委員会・財務委員会

- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①随時、②必要に応じ開催
- ・対象者；①②委員会委員

○将来構想委員会

- ・内容；本学会の将来に向けての改善点の洗い出しと共有の認識を持つことを目的として、適宜会議を行い、理事会へ提言を行っていく。
- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①随時、②必要に応じ開催
- ・対象者；①②委員会委員

②事業名：規約整備事業(規約委員会)

- ・内容；1) 定款・定款施行細則の見直しを行う。  
2) 各委員会内規及び運用の内容評価を行う。  
3) 各委員会・WG・WT・PT内規、運用規程を整備する。

- 4) 新支部制度施行に伴う、支部規則、支部学術集会細則、留意事項の整備を行う。
- 5) NST稼働施設認定規程の運用規程の評価、認定教育施設規則(案)の整備
- 6) 認定医・認定歯科医・NST専門療法士・臨床栄養代謝専門療法士等の認定制度規則の運用の内容評価を行う。特に各認定制度規則間の整合性を整える。
- 7) 職能3部会内規の整備と活動指針となる運用内規の整備を行う。

- ・実施場所；①メール審議、②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①随時、②必要に応じ開催
- ・対象者；①②委員会委員

③事業名：代議員・学術評議員選考にかかわる事業(代議員・学術評議員選考WG)

- ・内容；1) 選出規定に従い、代議員の2021年申請受付(新規・再任)を実施する。  
2) 理事会推薦による代議員審査申請受付を実施する。  
3) 選出規定に従い、学術評議員の2021年申請受付を実施する。
- ・実施場所；①学会ウェブサイト(申請受付)、②東京(学会事務局またはWEB会議)(選考WG)
- ・実施日時；①代議員(新規・再任・理事会推薦による代議員審査申請)：2021年9月1日～9月30日(申請期間)、学術評議員：2021年10月1日～10月29日(申請期間)、②2021年11月頃(選考WG)
- ・対象者；①会員、②選考WGメンバー

④事業名：倫理審査申請に関する事業(倫理・利益相反委員会)

- ・内容；会員の研究内容の倫理審査体制の可能性を審議する。
- ・実施場所；①学会事務局へ申請、②メール審議、③東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①随時、②③必要に応じ開催
- ・対象者；①会員、②③委員会委員

⑤事業名：年次学術集会における倫理審査状況確認に関する事業(学術集会会長、倫理・利益相反委員会、学術集会実践支援委員会、支部統括委員会)

- ・内容；年次学術集会の演題登録における倫理的配慮についての確認体制を構築する。本制度は、一般社団法人日本医学会連合における「研究発表に当たっての倫理ガイドラインの共通化」の共有推進により、第36回学術集会(JSPEN2021)の演題申込より、応募演題の倫理面でのチェックが済んでいるかどうかの現状調査も含めて確認のプロセスを加えた。数年の移行期を経て、支部学術集会も含め本学会の研究発表に関して倫理的配慮についての確認体制を確立する。
- ・実施場所；①年次学術集会ウェブサイト、②メール審議、③東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①演題募集期間・演題審査期間、②③必要に応じ開催
- ・対象者；①会員、②③学術集会会長、委員会委員

⑥事業名：利益相反に関する確認(倫理・利益相反委員会)

- ・内容；役員、発表者等のCOI申告状況の確認を行う。また、COI指針・細則の運用上の確認を進める。

- ・実施場所；①COI申告対象者、②メール審議、③東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①2021年5月頃、②③必要に応じ開催
- ・対象者；①役員・委員会委員・COI指針による申告対象者、②③委員会委員

⑦事業名：コンプライアンス向上に関する事業(倫理・利益相反委員会)

- ・内容；本学会のコンプライアンス体制強化の方法に関して協議する。
- ・実施場所；①学会事務局、②メール審議、①東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①②随時、③必要に応じ開催
- ・対象者；①会員、②③委員会委員

⑧事業名：栄養士・管理栄養士部会

- ・内容；1) 栄養士・管理栄養士部会会議開催(年2回予定)
- ・実施場所；①②東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①第1回：2021年3月頃(未定)、②第2回：2021年9月頃(未定)
- ・検討事項；①JSPEN2022パネルディスカッションのテーマと担当者の検討、職能別アドバンスコースのテーマと講師の検討、部会の活動内容及び役割分担、②栄養士・管理栄養士部会主催アドバンスコースの反省、JSPEN2023パネルディスカッションのテーマと担当者の検討、次年度の部会活動の方向性の検討
- ・対象者；①②部会委員
- ・内容；2) 栄養士・管理栄養士部会アドバンスコース
- ・実施場所；未定
- ・実施日時；アドバンスコース：2021年秋頃
- ・テーマ；症例から学ぶリサーチクエストと研究法(栄養管理の実践力向上とクリニカルクエストを発表、論文に結び付ける力を身につける)
- ・対象者；NST専門療法士有資格者

⑨事業名：薬剤師部会

- ・内容；薬剤師部会会議開催(年3回予定)
- ・実施場所；①第1回・②第2回・③第3回：名古屋(またはWEB会議)
- ・実施日時；①第1回：2021年2月28日、②第2回：7月頃(未定)、③第3回：11月頃(未定)
- ・検討事項；2020年度薬剤師部会活動の検証、2021年度薬剤師部会の活動計画の実施、静脈カテーテル感染症等の輸液ルート使用に関わる実態調査の実施、次回担当分のNSTベーシックコース、学術集会時の薬剤師部会パネルディスカッション、職能別アドバンスコース、日病薬研修認定単位の配布手続きの検証、薬剤師部会予算等の検討をはじめとした次年度(2022年度)の薬剤師部会の事業計画の検討
- ・対象者；①②③部会委員

⑩事業名：看護師部会

- ・内容；看護師部会会議開催(年2回予定)

- ・実施場所；①第1回、②第2回：東京(学会事務局またはWEB会議)
- ・実施日時；①第1回：2021年(未定)、②第2回：2021年(未定)
- ・検討事項；2022年第37回学術集会看護師部会パネルディスカッション内容の検討、看護師部会によるオンライン講義の企画・運用検討、NSTベーシックコース開催事業(教育委員会・職能別活動検討委員会主催)の企画など。
- ・対象者；①②部会委員

#### IV. 理事会・その他の役員会の開催

- 第1回定例理事会 2021年2月17日(予定)オンライン会議(Zoom使用)
- 第2回定例理事会 2021年2月(予定)オンライン会議(Zoom使用)
- 第3回定例理事会 2021年4月(予定)
- 第4回定例理事会 2021年7月(予定)
- 第5回定例理事会 2021年10月(予定)

#### V. 社員総会・推戴式の開催

##### 第8回定時社員総会

- ・日時；2021年2月17日→【日程変更】2月28日
- ・場所；ホテルポストプラザ草津 びわ湖(WEB視聴対応含む)
- ・社員総数；255名
- ・COVID-19拡大のため、名誉会員・特別会員推戴式は中止とし、事務局より推戴状と記念品を贈呈する。

#### VI. 総会・学術評議員会・表彰式の開催

##### 令和3年度(2021年度)総会・学術評議員会・表彰式

- ・日時；2021年2月19日→【延期】7月22日 13:00~14:30(予定)
- ・場所；神戸ポートピアホテル
- ・学術評議員数(代議員含)；726名
- ・COVID-19拡大のため、表彰式は中止とし、事務局より各アワード規程に従い、各表彰状・賞牌を贈呈する。

以上